

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあんSchoolホップ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 10日 ～ 令和7年 3月 24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日 ～ 令和7年 3月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化を意識した生活空間を作り、子どもたちが見てすぐに理解できるよう、環境を分かりやすく整備しています。安心して過ごしやすい空間づくりを心掛けています。	スケジュールボードやイラスト付きの表示などを活用し、「何をするか」が一目で分かるようにしています。活動エリア・休憩エリア・個別スペースなどを物理的に区切り、安心して活動ができるようにしています。	定期的にスタッフ間で環境校正の見直しを行い、子どもたちの変化や成長に応じた最適な空間を目指していきます。
2	支援計画の作成に当たっては児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる全てのスタッフが共通理解を持ち、意見を出し合いながら検討をしています。	子ども一人ひとりについて、スタッフ全員が関わる会議を行い、日々の様子・変化・課題を共有しています。	新人スタッフにも共通理解が持てるよう、支援方針や実践を可視化したマニュアルやチェックリストを整備していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域のこども達との交流が不足している。	安全面や支援体制の違いから、交流を躊躇してしまう。地域の施設とのつながりや関係性がまだ築かれていない。	必要に応じて交流のばを設けられるよう、企画していく。公園遊びなど混ざっても無理のない場を意識して設定していく。
2			
3			